

平成30年度 博学連携事業

「生き残れ！植物たちの多様な繁殖戦略」講演会

開催日：平成30年11月10日（土）

開催場所：大阪歴史博物館 4階講堂

受講者：149名

内容：

- ・「多士済々！植物の多様な性と巧妙な繁殖戦略」
名波 哲（理学研究科 准教授）
- ・「かわる花のカタチ」長谷川 匡弘（大阪市立自然史博物館 学芸員）
- ・「雄雌のある植物のふしぎ～進化とかしこい生き方について～」
大矢 樹（理学研究科後期博士課程 日本学術振興会特別研究員）
- ・「最強!? セイヨウタンポポの繁殖戦略」伊東 明（理学研究科 教授）



名波教授による講演

ミュージアム連続講座「形を写す、姿を描く－美術・工芸から芸能、自然史－」

開催日：平成30年11月1日、8日、15日、22日（全4回）

開催場所：難波市民学習センター

受講者：のべ208名

内容：

- 第1回
- ①「古陶磁の肖像－現代アートによって読み直される名品」
宮川 智美（大阪市立東洋陶磁美術館 学芸員）
 - ②「文楽人形のかたちと性根」
澤井 浩一（大阪歴史博物館 学芸員）
- 第2回
- ①「鍋島焼の文様」杉谷 香代子（大阪市立美術館 学芸員）
 - ②「模る職人たち－型を使う近世大坂の職人」
清水 和明（大阪文化財研究所 学芸員）
- 第3回
- ①「野生のきのこを描く－理解するために描く研究者の目線」
佐久間 大輔（大阪市立自然史博物館 学芸員）
 - ②「浮世絵版画における肖像表現」菅原 真弓（文学研究科 教授）
- 第4回
- ①「王たちの肖像：ルーヴルの名品から読み解く権力のイメージ」
岡田 裕成（大阪大学文学研究科 教授）

文化交流センター 博学連携講座「幕末・維新の変革と大坂（大阪）」

開催日：平成30年11月5日、12日、19日、26日（全4回）

受講者：のべ413名

内容：

第1回「幕末・維新の基点としての天保期」木土博成（大阪歴史博物館 学芸員）

第2回「幕末の政局と大坂蔵屋敷」豆谷 浩之（大阪歴史博物館 学芸課長代理）

第3回「大阪湾の海防と台場」中西 裕樹（高槻市教育委員会文化財課 主幹）

第4回「維新时期大阪の都市行政と社会」佐賀 朝（文学研究科 教授）

シンポジウム「豊臣大坂城研究の最前線」

開催日：平成30年12月15日（土）

開催場所：大阪歴史博物館 4階講堂

受講者：215名

内容：

第1部 講演会

・「豊臣大坂城の本丸はどこまでわかっているか」市川 創（大阪府教育庁文化財保護課 副主査）

・「本丸地区とその周辺の地盤状況」三田村 宗樹（理学研究科 教授）

・「豊臣大坂城の大名屋敷・家臣団屋敷の分布」大澤 研一（大阪歴史博物館 学芸課長）

・「描かれた豊臣大坂城を比較する」仁木 宏（文学研究科 教授）

第2部 ディスカッション

「豊臣大坂城はどこまで解明されたか。これからの研究の課題は？」



ディスカッションの様子



会場の様子

共同研究〈戦略的研究・科研費等〉

戦略的研究（基盤研究／平成30年度）

「豊臣大坂城本丸地区の堀・櫓台の復元研究—文理融合・博学連携プロジェクト—」

代表研究者：仁木 宏教授

内容：大阪歴史博物館、大阪文化財研究所等との文理融合による大阪城中心域の共同研究